

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

597-470

事務事業名	市街地再開発組合支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	商業・市街地活性課		包含する細々目	1	7	1	6	11	6		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり												
施策	46 活気ある街づくりの推進												
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画 条例等		中心市街地活性化計画 市街地再開発事業等補助金交付要綱					
		事業期間	11	年度～	18	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	橋南第二地区再開発組合	組合員数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			12		12	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	橋南第二地区再開発事業の実現に向けスムーズな運営を行う。	保留床処分率	18目標	100	最終目標	100
			18実績	100	19目標	
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	18
			18実績		19目標	↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	橋南第二地区再開発組合に対し、地元調整活動費や組合運営等に対する補助を行う。	橋南第二地区再開発組合に対し、組合が行う地元調整活動が円滑に行われるよう、組合活動に係る費用(組合運営費など)に対する補助を行う。	事業進捗率(%)	100
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,000	
事業費計(A)	5,000	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 0
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	0
	トータルコストA+B	6,788	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	中心市街地に人や物が集まり活気がある状態を目指す	中心市街地に住んでいる人数	現状値	4883	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	4900
		中心市街地に住んでいる世帯数	現状値	2081	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	2060	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>中心市街地の空洞化や衰退に対応するために市街地再開発事業を実施しているが、事業実現のためには地元の合意形成が不可欠であるため、その支援をするために実施した。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>近年の経済状況の悪化により、中心市街地を取り巻く情勢はますます厳しくなっている。一方、橋南第一地区市街地再開発事業の完了により、市街地において歩行者を中心とした通行量や賑わいが増してきている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>商業・業務・公共の文化施設等の複合的な機能の配置により来街者の増加が見られる。</p>
---	--	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>市街地再開発事業が円滑に推進できる。</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>組合としては最大限の努力をしており、これ以上の成果向上は難しい。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>再開発組合は地域内の全権利者を対象としているため、見直しの必要はない。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>組合の維持結束に重大な支障を生じ、結果として再開発事業の成否に関わってくる。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>第二地区の早期完成は活性化に向けて必要なものであり、組合支援という意図は妥当である。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>事業に付随するものであり、統合はできない。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>市は市街地再開発事業の事業主体であり、早期の事業成功に向けて、組合支援を行う必要がある。</p>		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>本事業においては市が支援することが事業成功の要因であり、現体制の中で支援することが重要である。</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>組合費を徴収しており、その水準は県内同種の組合と比較して同程度である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <b>18</b></p> <p><b>具体化</b></p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
--	-----------------------------

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	